

1 単元 私の思いを言葉で伝える～『初雪のふる日』（光村図書4年）～

2 指導の立場

<子どもの実態から>

子どもは、『プラタナスの木』で中心人物の性格や変化，おじいさんの正体を考えることで，作品の魅力を捉えた。そこでは，変容のきっかけや，自分の考えを支える叙述を基にしながら，内容の面白さだけでなく，読み方の面白さについて自分の考えを形成することができた。また，自分の書いた紹介文を基に魅力を話し合うことで，着目する叙述によって，中心人物の変化や魅力だと感じる部分が違うことを実感してきた。このような子どもが，作品の雰囲気や中心人物の心情の変化について話し合うことで，言葉のもつ意味や表現の工夫を捉えたり問い直したりすることができるだろう。

そこで，単元を構想するにあたっては，次のような教材を設定する。

<教材について>

『初雪のふる日』は，ふと見つけた石けりの輪に足を踏み入れた少女が，雪うさぎの列に入り込んで歩みを止めることができぬまま，幻想の世界に迷い込んでしまう物語である。読者は，「この少女はどうなってしまうのだろう。」と，緊張感や好奇心をもって，場面の様子と登場人物の気持ちを読んでいくだろう。ここでは，物語全体を通して中心人物の心情の変化を考え，他者と比較する。どの場面，どの言葉や表現に着目するかによって，幾通りもの解釈が成り立つことを意識できるようにしたい。

そこで，指導にあたっては，次の点に留意する。

<指導上の留意点>

- 第一次では，どの場面が面白いと思ったのかを心情曲線を基に話し合う場を設定する。そうすることで，自分の考えを形成したり，解釈のずれを認識したりできるようにする。
- 第二次では，心情曲線を基に，自分と他者の解釈を比較する場を設定する。そうすることで，自分が根拠とする言葉や文を捉えたり，他者の解釈を基に自分の考えを問い直したりすることができるようにする。
- 第二次では毎時間，自分の考えの変容とその理由を叙述と結び付けて振り返る場を設ける。そうすることで，叙述に基づいた言葉や表現への捉えを蓄積できるようにする。

3 目標

- (1) 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語句を豊かにすることができる。〔知〕(1)オ
- (2) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。〔思〕C(1)カ
- (3) 言葉のもつよさに気付くとともに，幅広く読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力，人間性等〕

4 well-being につながる学びについて

本学園では、well-being を「個人だけでなく、社会や地球環境まで含めた全体的に良好な状態」と捉えている。well-being の実現には、教科等の本質に迫る授業で身に付けた資質・能力を、人生において自在に発揮できる子どもを育成することが必要不可欠である。そのためには、エージェンシー（変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力）の育成及び発揮が重要な課題であると考えている。

本学園の国語部では、述べ方の効果や読後感の要因等を捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めていく授業が、教科の本質に迫る授業だと捉えている。また、エージェンシーを発揮している姿を、言葉への見方・考え方を働かせている学びの過程を自覚する姿だと捉えている。本単元においては、心情曲線を用いて、自分の考えを可視化したり、比較したりする場を設定する。自分の考えを自覚した上で、多様な考えに触れたり、学習を振り返ったりすることで、自分の考えの変容を捉えたり問い直したりする様相がエージェンシーを発揮した姿だと考えている。

このような学習を経験した子どもは、言葉や表現の仕方の面白さに気付いたり、他者との解釈のずれを楽しんだりしながら、自身の言葉への捉えを蓄積してこれからも様々な作品と向き合うことができるようになり、well-being の実現につながるだろう。

5 指導と評価の計画（総時数 8 時間）

次	学習活動・内容	エージェンシーを発揮するための手立て	評価規準・評価方法等
一 ②	○ 話の大体をつかむ ・登場人物の行動と関係 ・場面分け ○ 物語全体を通した心情曲線を作成する ・中心人物の気持ちの変化 ・言葉の意味	○ 自分と他者との感じた印象や疑問の違いを話し合う場を設け、自分の考えを納得させたり、疑問を解決したりできるよう工夫して学習に取り組む必要があると認識できるようにする	[主体的に学習に取り組む態度] <u>ノート・発言</u> ・物語の印象や疑問点について、自分の考えを文章にまとめようとしているかの確認
二 ④ 本時 3 ／ 4	○ 心情曲線を基に第一場面の女の子の気持ちの変化を話し合う ・しゃがんでいる女の子と石けりの輪を見つけた時の女の子の気持ちの比較 ・情景描写や修飾語への着目 ○ 心情曲線を基に第二・三場面の女の子の気持ちの変化を話し合う ・うさぎと出会った女の子の気持ちの比較 ○ 心情曲線を基に第四・五場面の女の子の気持ちの変化を話し合う ・おまじないを思い出した女の子の気持ちの比較 ・「ああ、初雪だ。」という台詞から受ける印象の比較 ● 心情曲線を基に第六～八場面の女の子の気持ちの変化を話し合う ・第五場面と第六場面の女の子の様子の比較 ・女の子の気持ちが一番上がったところの比較	○ 心情曲線を基に自分の考えを可視化することで、どの部分に着目しているのかを自覚できるようにする ○ 他者と考えを共有し、比較させることで、多様な考え方に触れるよさを実感することができるようにする ○ 学習したことを基に振り返らせるで、自分の考えを明確にし、蓄積していくことのよさを実感できるようにする	[知識・技能] <u>ワークシートへの書き込み</u> ・場面の様子や登場人物の言動、様子などを表す語句に着目し、語彙を豊かにしているかの確認 [思考・判断・表現] <u>ワークシートへの書き込み</u> ・登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えているかの確認 [知識・技能] <u>観察</u> ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読しているかの確認
三 ②	○ 二次で読み取ったことを基にして、紹介文を書く ・根拠となる語や文の選択 ・叙述に基づく自分の解釈 ○ 紹介文を読み合った上で感想を伝え合い、学習を振り返る ・捉えた魅力の比較	○ 学習全体を振り返ることで、新たに獲得した物語の読み方を自覚し、他の作品の読みでも自ら読み深める態度を養うことができるようにする	[主体的に学習に取り組む態度] <u>紹介文・ノート</u> ・叙述に基づいて自分の捉えた物語の魅力を文章で表現しようとしているかの確認

6 本時案 ー第二次・4時分ー

- (1) 主眼 第六・七・八場面の心情曲線を基に女の子の気持ちを話し合うことで、変化を表す表現の工夫について自分の考えを形成することができる。
- (2) 準備 ワークシート，板書用本文掲示
- (3) 学習の展開

学習活動・内容（発問）	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
1 第六・七・八場面の心情曲線を比較する 心情が変化するきっかけはどこか ・本時の学習への見通し ・変化が分かる表現	ア 女の子の頭に「すてきななぞなぞ」が浮かんだところで気持ちが上がったと思うな イ 私は、「よもぎ，よもぎ，春のよもぎ」のところが一番大きく気持ちが上がったところだと思うな ウ いろんなきっかけがありそうだから，友達がどのように考えているのか聞いてみたいな	・単元の最初にかいた心情曲線を互いに比較させることで，自分と友達の捉えた変化のずれを認識することができるようにする	7
2 心情曲線を基に，捉え方のずれが多い部分を話し合う 一番女の子の心情が変化したと感じたのはどこか ・言葉の意味の捉え ・解釈の違い ・叙述同士や，場面の結び付き	ア 「女の子の体は，だんだん温かくなり…」のところから，気持ちがどんどん上がっていったと思うな イ でも，まだ助かっていないから，そこまで大きく気持ちは上がってないのではないかな ウ 「気が付いたとき…」のところから，うさぎがいなくなって安心したから一番気持ちが大きく上がったと思うよ エ 「もう石けりの輪はなく…」のところから，女の子はまだ状況が理解できていない様子を表していると思うから，ここも一番ではないと思うな オ そのあとに「ああ，助かった。」とあるから，そこでようやく助かったことが理解できたと思うな カ だとしたら，その部分が女の子の気持ちが一番上まで上がったのだね	・意図的指名や「一番と感じたのはなぜか。」「どこからそう思ったのか」を問い返すことで，言葉や表現による解釈の違いについて，多様な考えに触れられるようにする ・着目した言葉と自分の考えとを結び付けて話し合わせることで，叙述に基づいて登場人物の心情を捉えたり，問い直したりできるようにする	35
3 本時の学習を振り返る 一番気持ちが上がったと思うところはどこになるだろうか ・新たな解釈の形成 ・考えの言語化	ア 一番は，よもぎを見つけたところだと思っていただけで，友達の意見を聞いて考えが変わったよ イ 「ああ，助かった。」の「ああ」というところから，一番安心している様子が伝わるから，ここが一番かな ウ 友達と比べると感じ方や考え方が違って，参考になるね	・振り返りシートに本時の学習を通じた自分の考えを記述させることで，考えの変容や新たな視点の獲得を自覚したり蓄積できたりすることができるようにする	45

(4) 評価規準と方法

第六・七・八場面の心情曲線を基に女の子の気持ちを話し合うことで，女の子の気持ちの変化を表す表現の工夫を捉え，自分の考えを形成しているか発言やワークシートから見取る。

<メモ>